

第1学期もあと1週間となりました。子どもたち全ての学年はこれ迄の3ヶ月あまりの園生活でとち関係の車輪を大きく広げて来ました。

「きょうもたくさんあそんだよ!! おとちたちとちからをあわせておおきなことをやったよ!! きょうもあたらしいことひとつおぼえたよ!!」……とこんな子どもたちの喧嘩が聞こえて来る学期末です。

■この学期、子どもたちのレベルアップはドリルでも体の力でもこころの面でも大きな成長を觀せております。

特に年長児と年中児たちの体の力のレベルアップについては、新年度がスタートして3ヶ月あまりと言うのに近年に無いペースで成長しております。

これは過去2年間と1年間の努力の積み重ねが強い土台となっている事は言う迄もありませんが、子どもたちのやる気と言いか意欲を引き出してくれるクラス担任に加えて強力な布陣の活やくもぜひとも知っておいてください。

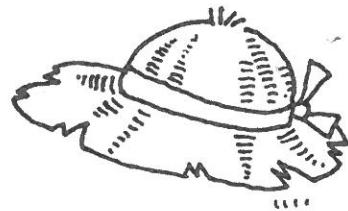
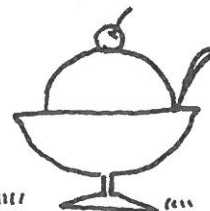
今年度より10クラス10名の担任制で副担任は決めておりません。

クラスに所属しないフリーの教諭は12名です。

このフリーのスタッフはクラスに固定される事なく臨機応変に10クラスをとり回っております。

担任と違ってクラスや学年を越える視野を持つ事も大きな力になっていております。私たち、総力をあげてひとりひとりの可能性を引き出してあります。2学期にもぜひご期待ください。

■7月のおたんじょう会は7月20日(木)です。32名のおとちたちが7月生まれてす♡



幼児期の育ちが全ての出発点ですよ

おもしろいデータがあります。1万人近い非行少年少女とその家庭を調査した結果、親の愛情不足や食餌が要因ではなく甘やかして、即ち溺愛で育てた事が62%もあり、放任と合わせると85%にもなりました。

そして、家庭の中で誰が溺愛したのかを調査した結果、母親が70%、祖母23%と言う結果が出ております。どの家庭でも子育ての中心は女性なんですね。

ぜひお父さんお母さんに考えてもらいたいです。

この幼児期の育ちが全ての出発点であると言う事です。

子どもを甘やかして、そんな子育てから何が育ちますか!! 良いものは何一つ育ちません。

甘やかされて育ってきた子には、自分の欲求をコントロールする力がとても弱く、がまんする事が出来ず、このまま育って行くとブレーキを持たない少年・少女になる心配があります。

家庭での躾を考えてみてください。子どもにとって躾をされると言う事は親からある種の「がまん」を強要される事なのです。躾がしっかり身につけている子は「がまん」が出来るといえます。子どもなりの分別、即ちブレーキを持つようになるんですよ。

世の親たちは、幼児期の甘やかしにはどれ程の危機感を持たないようです。しかし、出発点はこの幼児期にあるのです。この時期の育ちの結果は10年、20年、30年を経て出て来ます。お父さんお母さん!! 我が子の育ちを大切にしてください。

私たちはお手伝いさせていただきます。!